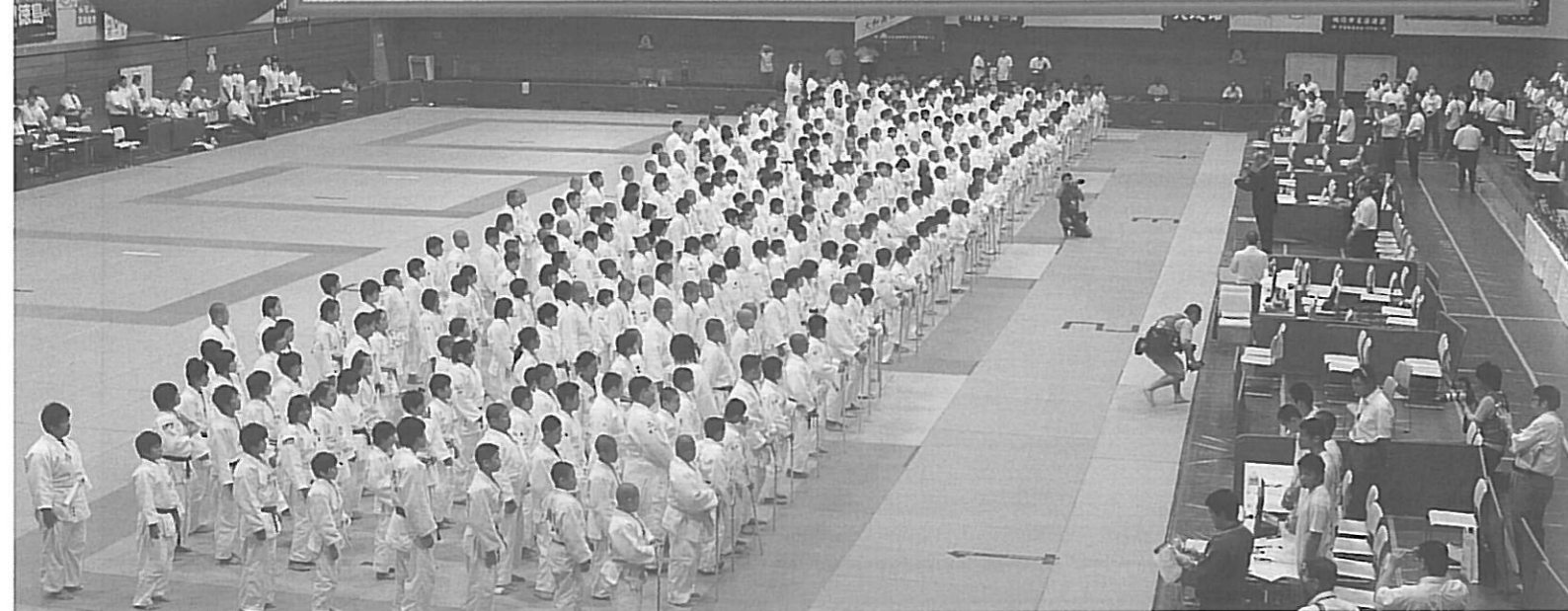


平成21年度  
第6回

# 全国小学生学年別柔道大会

第6回目となる全国小学生学年別柔道大会が8月23日、長野県松本市の松本市総合体育館で行われました。各学年男女2階級で日本一の座をかけた戦いが繰り広げられ、熱戦の末、8名のチャンピオンが誕生。勝った選手はもちろん、惜しくも敗れた選手にも、実りの多い夏の1日となったようです。選手たちの声を紹介します。



優勝者・女子

## 5年生40kg級 / 武田 亮子さん (京都府・宇治柔道会)

「この日のために毎日4キロ走ってきました。将来はオリンピックに出られるように頑張りたいです」  
指導者から▶「よく練習をする子です。この結果に満足せず、もっと上を目指して柔道に励んでほしいですね」

## 6年生45kg級 / 辻田 愛佳さん (大分県・USA s.j.c)

「昨年3位だったので、今年は優勝を目指していました。お盆休みも中学校に出稽古に出かけたりして頑張って、目標が達成できて嬉しいです。中学生になっても全国大会で優勝できるよう頑張ります」

## 5年生40kg超級 / 桑田 晴乃さん (石川県・松任柔道スポーツ少年団)

「5月の全国大会では2回戦で負けてしまったので、この大会は勝ちたいと思ってました。来年も優勝を目指します。中学生でも日本一になりたいです」

## 6年生45kg超級 / 富田 若春さん (東京都・松前柔道塾)

「組み手の練習を厳しくやり、試合では「絶対に勝とう」という気持ちを強く持ちながら戦いました。2連覇できて嬉しいです。どんなときでも力を尽くして一本をとりまく柔道ができるようにこれからも頑張りたいです」  
指導者から▶「とても柔道に熱心で、一生懸命取り組む子です」



優勝者・男子

## 5年生45kg級 / 堤 亮貴くん (北海道・登別有館道場)

「優勝するとは思ってなかった。予選リーグで勝って、これはいけるかなと思いました。得意技は払腰で、練習は毎日4時間くらいです。6年生での連覇を目指します。将来はオリンピックに出て活躍できる選手になりたいです」  
指導者から▶「うちでやりたいと寮生活をしながら頑張っている子です。とても気持ちがしっかりしています」

## 6年生50kg級 / 古賀 颯人くん (神奈川県・古賀塾)

「今までの人生の中で今日が一番嬉しい日になりました。決勝では、お父さん(古賀稔彦氏)からは「最後だから持つるものを出して頑張れ」といわれて試合に臨みましたが、そのとおりにできたと感じています」  
指導者から▶「気持ちの弱いところがある子ですが、今日は気弱になることなく、6年生になってからの成長を感じました」

## 5年生45kg超級 / 粟野 諒平くん (千葉県・大原町少年柔道教室)

「ライバルは辻(湧斗)君だと思い、相手より先に仕掛け、カ一杯戦おうと思って試合に臨みました。優勝できて嬉しいです」  
指導者から▶「柔道をやっているお兄ちゃんに憧れ、3歳から始めた子です。基本をしっかりとしにつけさせ、中学に送りたいと思っています」

## 6年生50kg超級 / 太田 彪雅くん (栃木県・岩舟柔道会)

「大きな全国大会で優勝できて嬉しいです。1回戦から苦しかったけれど、気持ちで負けないようにと思いながら戦いました。ライバルの大賀(興一)君と戦えなかったのが残念です。将来はオリンピックで優勝したい」

## 頑張った選手たち

西川 栄那さん (5年 / 長野県・清水館)  
「優勝した武田さんに予選リーグで負けてしまいました。来年は全国1位を目指して頑張ります」

星野 太駆くん (5年 / 新潟県・白根柔道連盟鳳鳴塾)  
「みんな強かったです。緊張しました。次は全国優勝を目指します」

吉田 晴香さん (5年 / 福島県・中蔵柔道スポーツ少年団)  
「技を1人ひとりが持っていて、みんな一本をとる柔道をしてる。全国はレベルが違いました」

磯村 亮太くん (5年 / 愛知県・羽田野道場)  
「予選は突破できたけど、トーナメント1回戦で負けてしまいました。来年は優勝したいです」

富塚 梨莉さん (5年 / 福島県・安積柔道スポーツ少年団)  
「負けて悔しいです。来年、また頑張ります」

佐々木 健友くん (6年 / 秋田県・雄和柔道クラブ)  
「予選は突破できたけれど、去年3位の選手に寝技で負けてしまった。そこを反省して、次また頑張りたいです」

上原 万智子さん (6年 / 長野県・東御市東部柔道教室)  
「去年はこの大会に出られなかったのですが、今年は優勝を目指して頑張りましたがベスト16でした。次の団体戦での全国大会でも選手として出場することが決まっているので、この悔しさをバネに頑張ります」

佐々木 愛さん (6年 / 福島県・たいら少年柔道教室)  
「予選リーグで負けてしまいましたが、去年よりは内容がよかったです。中学生になっても頑張ります」

野崎 広大くん (6年 / 佐賀県・外町少年柔道クラブ)  
「大会前に利き腕の手首を痛めていたこともあって、自分の技が出せず悔しかったです」

平田 直樹くん (6年 / 東京都・春日柔道クラブ)  
「ベスト4のところで負けたけれど、楽しかったです」

廣津 聖直くん (6年 / 大分県・中津柔道連盟少年部)  
「緊張したけれど、悔いのないようでした。憧れの選手は野村忠宏選手。中学生になっても全国大会に來られるように頑張ります」

並木 泰雅くん (6年 / 三重県・三重武道館柔道教室)  
「技をかけるとき、崩しが強引だったのが敗因だと思います。でも、最後まで向かっていけたところはよかったです」

鈴木 涼介くん (6年 / 愛知県・羽田野道場)  
「もうちょっと頑張れたんじゃないかなって思っています。目標は穴井隆将選手。中学では勝てるように頑張ります」

羽柴 敦樹くん (6年 / 長野県・東御市東部柔道教室)  
「今年初めてベスト16までいけました。でも、得意の一本背負技がしっかり技に入らず、つぶれてしまったのが悔しかったです。来年は全国中学生大会を目指して頑張ります」